

総合特別区域の進捗に係る評価  
〔国際戦略総合特区〕

令和2年度

アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区

〔指定：平成23年12月、認定：平成24年3月〕

I 目標に向けた取組の進捗に関する評価

i) + ii) の平均値 (3+4)/2=3.5

3.5

i) 取組の進捗

目標値に対する実績に基づく進捗度(当年度実績)

番号	評価指標	進捗度	評点
1	中部地域における航空宇宙産業の生産高	62%	3
2	中部地域における航空機・部品の生産高	69%	3
3	中部地域における航空宇宙産業雇用者数	66%	3
4	中部地域における航空宇宙関連輸出入額	27%	1
5	中部地域における航空宇宙関連の工場等の新增設件数	140%	5

評価指標毎の進捗の評価の平均値  $(5 \times 1 + 4 \times 0 + 3 \times 3 + 2 \times 0 + 1 \times 1) / 5 = 3$

3.0

・1つの評価指標に複数の数値目標がある場合は、各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均する。  
(例) 評価指標1について、a、b、cという3つの数値目標があり、各数値目標の評点・寄与度がa:5・20%、b:4・10%、c:3・70%の場合、 $5 \times 0.2 + 4 \times 0.1 + 3 \times 0.7 = 3.5$ で、四捨五入して評価指標1の評価は「4」となる。

■ 地方公共団体による特記事項

※外部要因による数値への大幅な影響等があれば記載

ii) 取組の方向性に対する評価

専門家による評価の平均値

4.0

II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価

i)、ii)、iii) の平均値 (3.7+3.7+3.7)/3=3.7

3.7

i) 規制の特例措置を活用した事業等の評価

専門家による評価の平均値

3.7

ii) 財政・税制・金融支援の活用実績の評価

専門家による評価の平均値

3.7

iii) 地域独自の取組の状況の評価

専門家による評価の平均値

3.7

### Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価

(専門家所見(主なもの))

4.0

- ・毎回非常にうまく進んでいる印象である。
- ・工場立地規制法の弾力的運用等積極的な活用が進んでいる。ボーイング事業の金融支援の効果も期待したい。
- ・工場等の新增設が実績を上げているが、これに連動する生産高、輸出額、および雇用者数に関する経過についての情報共有が望まれる。

専門家による評価(専門家の総合的な所見)の平均値

4.0

### 総合評価

I、II及びⅢを1:1:2の比率で計算  $(3.5+3.7+4 \times 2) \div 4=3.8$

3.8

(注)評価に係る評点及び表記の考え方については以下のとおり。

- ・評価は5～1(評点)で行う。
- ・進捗度は、100%以上を5、80%以上100%未満を4、60%以上80%未満を3、40%以上60%未満を2、40%未満を1とする。
- ・進捗度以外の評価項目における評点は、5:著しく優れている、4:十分に優れている、3:適当である、2:適当であると認めるには不十分である、1:適当であると認められないとする。